

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 2 区分

【発行日】平成25年4月18日 (2013.4.18)

【公開番号】特開2012-97804(P2012-97804A)

【公開日】平成24年5月24日 (2012.5.24)

【年通号数】公開・登録公報2012-020

【出願番号】特願2010-245373(P2010-245373)

【国際特許分類】

F 1 6 H 63/34 (2006.01)

B 6 0 T 1/06 (2006.01)

F 1 6 H 61/28 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 63/34

B 6 0 T 1/06 G

F 1 6 H 61/28

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月6日 (2013.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 7】

ブラシモータ M の出力軸 2 8 には、ウォーム 2 9 が固着されている。ウォーム 2 9 は、ウォームホイール 3 0 と噛合し、ブラシモータ M の回転をウォームホイール 3 0 に伝達する。ウォームホイール 3 0 は、ベースプレート 2 1 に設けた第 1 支持軸 3 1 に回転可能に支持され、ウォーム 2 9 (出力軸 2 8) の回転によって、第 1 支持軸 3 1 の中心軸線を回転中心として回転する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 8】

第 1 支持軸 3 1 には、平歯車よりなる小歯車 3 2 がウォームホイール 3 0 と一体回転するように、回転可能に支持されている。小歯車 3 2 は、ウォームホイール 3 0 と連結固定され、ウォーム 2 9 (出力軸 2 8) の回転によって、第 1 支持軸 3 1 の中心軸線を回転中心としてウォームホイール 3 0 とともに一体回転する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 9 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 9 5】

この位置決め板 5 の反時計回り方向の回動によって、パークロッド 9 及び制御カム 1 0 がロックボール 3 側に移動し、ロックボール 3 の係止爪 3 a は、アンロック位置からロック位置に案内される。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0096

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0096】

また、位置決め板5の反時計回り方向の回動によって、位置決めスプリングSP2のローラRがアンロック保持凹部12から外れロック保持凹部11に向かって外周面5aを摺接していく。さらに、ECU55は、回転検出器54からの検出信号に基づいて、ローラRと位置決め板5の外周面5aとの摺接位置の検出を開始する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0098

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0098】

このとき、駆動歯車33と従動レバー48は、図6(c)に示すように、嵌合口36の第1側面36aが係合突起49に係合しているだけの状態で直接連結されない。そのため、ローラRが外周面5aにかかる位置決めスプリングSP2の弾性力の反時計回り方向の分力にて位置決め板5を単独で反時計回り方向に回動させる。この位置決め板5の単独で反時計回り方向への回動によって、従動レバー48は時計回り方向に回動する。